

(様式1)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	1 3	学校名	宇都宮市立峰小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-----------

令和6年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の教育を基盤に、心身ともに健康で、自分の夢や目標のために自ら考え進んで行動できる心豊かでたくましく生きる児童の育成

(2) 具体目標（具体的な児童像など）

① 健康でたくましい子【元気】

- ・ 自他を大切にし、明るく元気に生活する子
- ・ 時と場に応じ、はきはきとあいさつや返事をする子
- ・ 自分の健康に関心をもち、規則正しく生活する子
- ・ 自分の目標をもち、ねばり強く頑張る子

② よく考え進んで学ぶ子【やる気】

- ・ 確かな学力を身に付け、進んで学習する子
- ・ 知的好奇心に溢れ、自ら課題に気付き、主体的に解決する子
- ・ 他の意見を尊重し、自分の考えと比べながら最後までしっかり話を聞く子
- ・ 自分の考えをもち、進んで発信する子

③ 心豊かで思いやりのある子【思いやり】

- ・ 進んでルールやマナーを守り、誠実に行動する子
- ・ 互いのよさを認め合い、進んで友達と協力する子
- ・ 相手を尊重し、正しい言葉遣いができる子
- ・ 感謝の気持ちをもち、地域に貢献できる子

2 学校経営の理念 テーマ 「地域とともにある学校」

教育基本法、学校教育法及び同施行規則、学習指導要領、栃木県教育委員会の指導の指針、宇都宮市教育委員会第2次学校教育推進計画、第2次宇都宮市学校教育スタンダード、令和6年度指導の重点等に合致した学校経営を目指す。また、本校の教育目標の達成のため、児童の実態や発達段階、特性、地域社会や保護者の願いなどを十分把握するとともに、うつのみや学校マネジメントシステムを十分に生かすことにより、全教育活動を通して心豊かでたくましく生きる児童の育成に努める。

3 学校経営の方針

- (1) 児童にとって居がいのある活力あふれる楽しい学校・学級を目指し、児童が主役となる場を意図的に設定し、充実感や達成感を味わうことにより、自ら進んで行動できる児童を育成する。
- (2) 長所を引き出し、認め励ます教育を実践する中で、自己の成長を実感させ、自己肯定感を高める。規範意識の醸成、望ましい人間関係と社会性の育成に努めるために、学校教育全体をととして人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動を推進する。
- (3) 楽しく分かる授業の実践ときめ細かな指導の充実、意欲的に取り組む授業づくり、ICT等を効果的に活用すると共に、学びに向かう集団づくり、家庭と連携した家庭学習を推進し、学力の向上を図る。
- (4) 生涯にわたって健康で安全な生活を実現する力を育むために、不審者・災害訓練、交通安全教室などを通して身を守るための行動力の育成、健康や体力の増進、望ましい食習慣の確立に努める。
- (5) 地域の資源・人材を積極的かつ有効に活用するとともに、地域学校園の教育ビジョンを念頭に小中一貫教育の利点を生かした教育活動を推進し、信頼される学校の実現を目指す。
- (6) 教育公務員としての自覚と責任を持ち、コンプライアンスを遵守するとともに、勤務時間を意識した働き方改革と校務を効率的に行うための工夫改善、事業内容の検討・見直し等を推進する。
- (7) 教職員の専門性や特性が生かせる校務分掌とその体制づくりを推進するとともに、校内研修を活性化させ、教育専門職としての資質と能力の向上を目指す。

4 教育課程編成の基本方針

- (1) 本校の理念や教育目標，目指す児童像の達成を期するように編成する。
- (2) 知・徳・体の調和の取れた，人間性豊かで生きる力を身に付けた児童の育成を目指す。
- (3) 学校・地域・児童の実態を十分に考慮し，特色ある教育課程を編成する。
- (4) ゆとりある充実した教育活動が実践できるように編成する。
- (5) 学校経営計画に示された方針や重点目標，特色ある学校づくり等に関する取組を踏まえ，全校体制で日々の教育活動に取り組む。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営
 - ・ 重点活動〔峰小：元気・やる気・思いやり活動〕の推進
 - ・ 学校経営への参画意識の高揚と効率的な企画・運営の工夫改善
 - ・ 児童や地域の実態，地域の環境に即した教育計画の作成と実践
 - ・ 自分の夢や目標の実現に向けて，たくましく生きる児童の育成を目指した教育活動の推進
- (2) 健康（体力・保健・食・安全）
 - 【元気】「生涯にわたり心身の健康保持増進を図ることができる児童の育成」
 - ・ 元気っ子チャレンジや各種検定への積極的な参加，自発的なあいさつと返事の励行
 - ・ 「うつのみや元気っ子健康体力チェック」の活用等による進んで運動に親しむ態度の育成，自己の健康増進に向けた生活習慣の定着
 - ・ 歯磨きボランティアの活用による歯磨き指導（きらきらクラブ）の充実
 - ・ 望ましい生活習慣の育成と食に関する指導の充実
 - ・ 教育活動全体を通じた安全教育の充実・徹底，危険回避能力の育成
- (3) 学習指導
 - 【やる気】「自ら進んで表現できる児童の育成」
 - ・ 基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力等の育成を目指して，教材やＩＣＴ等を効果的に活用した授業，デジタル・シティズンシップの育成，問題解決的な学習の充実，家庭学習の習慣化，教科担任制の導入に向けた体制作り
 - ・ 「宇都宮モデル」を踏まえ，「主体的・対話的で深い学び」の授業を工夫し，「できた」「分かった」が実感できる「楽しい授業」を展開するとともに，個に応じた指導の充実を図る
 - ・ 学習目標の明確化と学習のまとめや振り返りを意識した学習展開の工夫，ＡＩ型ドリル等の計画的な活用，学び合える活動等の工夫
 - ・ 「学習の約束」を活用した学習の準備，返事，チャイムの合図の順守の徹底
 - ・ 読書活動の推進・充実と読解力の育成
- (4) 児童生徒指導
 - 【思いやり】「自ら考え，適切な判断と行動ができる児童の育成」
 - ・ 「峰小よい子の一日」や「陽東地域学校園児童生徒の目標」を活用したルールやマナーを守る態度の育成，互いに認め合い励まし合おうとする態度，高め合える学級経営の充実
 - ・ 「いじめゼロ集会」の実施，人権標語を作成することで感謝する心，人を思いやる心，生命や人権を尊重する態度の育成
 - ・ 「特別の教科：道徳」の指導の充実と道徳的実践力の育成
 - ・ 共に学び合う場や互いの良さを認め合う場の意図的な設定による，望ましい人間関係の醸成
 - ・ 確かな児童理解に基づく自己肯定感を高める声掛けの継続と，個を生かす教育の実践
 - ・ 家庭や各種団体と連携したあいさつ運動の推進

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食・安全）に関する取組（※ 様式２～４参照）

7 特色ある学校づくり等に関する取組

- (1) 育てたい資質・能力
 - ・ 地域の良さに気付き，地域の環境を大切にしようとする態度

- ・ 地域の方々に対する感謝の心や身近な人々に対する思いやりの心
- ・ 協力して問題解決に取り組む態度や、主体的に自分の役割を果たす実践力

(2) 具体的取組（「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には、文頭に◇）

- ◇① 学校行事（全校長なわ大会）や児童会活動、集会活動、縦割班活動等において、児童が主体的に活動し、活躍できる場を意図的に設定し、積極的な公開をすることにより、地域に根ざした開かれた学校づくりを推進する。
- ◇② 地域協議会を窓口に、保護者や地域住民及び各種外部団体の学校教育への支援や参画を推進する。
- ③ マネジメントシステム等による保護者や地域からの学校評価を、児童や教職員の意欲及び成果向上の道具（ツール）として生かす。
- ◇④ 地域の教育資源を有効に活用し、各種交流体験活動を充実させるとともに、宇都宮大学や各種関連機関との連携を強化する。

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

① 基本的な考え

- ・ 地域の一員であるという自覚を培い、地域に感謝し地域に貢献しようとする態度を育成するため行事への積極的な参加を促す。
- ・ 地域に潜在する教育資源を生かすため、各種団体との連携を図る。

② 主な取組

- ・ 地域協議会や地域、宇都宮大学などの行事を通して、地域住民との交流を図る。
- ・ 地域住民との交流により、地域の行事への積極的な参加を促す。
- ・ 地域教材を扱った授業内容を充実させ、児童の地域への関心を高める。
- ・ 「あいさつ運動」の実施や日常のあいさつの奨励により、児童と地域住民との交流を深める。
- ・ 地域のボランティア活動を推進し、学校支援の仕組みを構築する。

(2) 小中一貫教育・地域学校園

【陽東地域学校園教育ビジョン】 地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、確かな学力の定着を図り、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

① 基本的な考え

「地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、確かな学力の定着を図り、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」をテーマに、義務教育9年間で育てたい「目指す子ども像」を掲げ、小中学校の教職員が児童の発達段階に応じた指導を積み重ねることで、児童生徒の学力の向上を図る。

② 主な取組

- ・ 小中学校相互の特性を生かした小中交流授業を行うことで、中学校進学に対する児童の不安軽減を図るとともに、小中協働の意識を高め同歩調で児童生徒の健全な成長を目指す。
- ・ 地域学校園あいさつ運動を通して、児童生徒及び教職員の交流活動を積極的に推進する。
- ・ 学習や生活に関する「地域学校園の約束」を活用し、陽東地域への所属感を高めるとともに、基本的生活習慣の育成や望ましい学習習慣の確立に努める。
- ・ 児童生徒指導カルテを活用して、発達段階に応じた児童生徒指導を充実させるとともに、特別支援学級の交流を積極的に行い、小中学校間の特別支援教育の連携強化を図る。
- ・ 同歩調で歯みがき指導や目に関する健康教育を推進するなど、地域学校園内の教職員による協働の場の設定や活動内容を工夫しながら、健康・安全教育、食育の推進と心の教育の充実を図る。
- ・ 学校園統一献立や共通「お弁当の日」、「お弁当コンクール」等を実施し、家庭での食に関する話題づくりのきっかけづくりをする。
- ・ 各学校のおすすめ本を紹介し、読書の幅を広げるとともに読書の質の向上を目指す。

(3) 不登校対策

① 基本的な考え

不登校を学校における最重要課題の一つととらえ、不登校を生まない学級・学校経営に努めるとともに、不登校及びその傾向がある児童への支援を組織的に行う。

② 主な取組

- ・ 担任及び児童相互の「認め励ます言葉かけ」を中核とした、居心地の良い学級づくり
- ・ 過去の欠席等の状況や集団への適応状況に関する情報共有と対応の協議・実施
- ・ 不登校の予兆を的確に捉え、保護者と連携した初期対応の確実な実施
- ・ 別室登校支援やＩＣＴを活用した連絡・学習支援等、個に応じた柔軟な対応

(4) G I G Aスクール構想

① 基本的な考え

一人一台端末や高速通信ネットワーク等のＩＣＴ環境を活用し、個別最適な学びや創造性を育む学びの実現と、学校の業務負担軽減を目指した取組を推進する。

② 主な取組

- ・ 協働学習ツールやＡＩドリルを積極的に活用した教科の学びを深める指導の充実
- ・ 不登校児童支援や特別支援教育等、多様な課題を解決するためのＩＣＴの積極的活用・デジタルシティズンシップを育む系統的な指導等の情報モラル教育の推進
- ・ 教職員の指導力向上を目指す研修の充実とＩＣＴ支援員の効果的な活用

(5) 宇都宮学

① 基本的な考え

郷土への愛情や誇りが育まれるよう、社会科、総合的な学習の時間等を通じて宇都宮の歴史や伝統文化、産業等への理解を深める学習の充実を図る。

② 主な取組

- ・ 総合的な学習の時間や社会科の年間指導計画の見直し
- ・ 宇都宮市の良さを具体的、実感的に捉える学習活動の工夫
(市施設巡りの代替となる校外学習、出前講座等の設定)
- ・ 地域の人材を活用した教育活動や交流活動の充実